

# 12月2日(月)1限 人権道德集会「Respect Others」の感想



いじめとかいじめは、人の一人一人の個性がさかからず発生すると思う。個性がさかうなら、その人なりの常識もさかしてその人なりのふつうがある。そのことを理解し、相手の自分とさかうところを「リスペクト」して話し合えるようになれば、いじめもいじめもへてくと思うし、スケールを大きくしたら、国どうしの問題もへてくと思う。



日本人は少しでも周りと違った考えや、行動をする人を嫌ったり差別的な見方をしたりしてしまうことが多くあるとあらためて思った。「いじめをなくしようよ」、「人々を尊重しよう」という方がいいという主人公の考えに共感できた。ひとりひとりの個性を少しでも尊重しようという考えがみんなの中にあれば、差別的な見方をしたり、誰かをいじめたりする人も減ると思う。



リスペクトアゲースを見て、自分やほかの人、一人ひとりがそれぞれ違った個性を持っていることや、相手をリスペクト(尊重)することの大切さを深く感じた。自分が思っていることをためこまずに

個性を出さなくてみんなとすれ違い暮らしをしていく、そんな環境を作っていくことは過剰な暮らしにもつながっていくと思うので、リスペクトアゲースを心にかけていけるおにしたいと思う。

自分も、自立しすぎると周りの人にどのようにみられるのか不安になるときがあるのでは、気持ちわかるなと思いました。

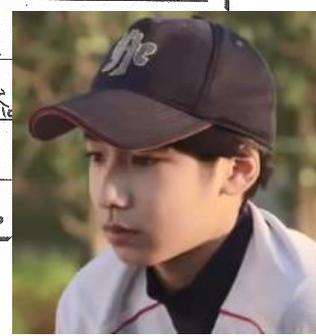


自分も、他人の人を尊重するのは必ずしも正しいかもしれないけど、そうすることで何かが変わることもあるので大切だということが分かりました。



このドラマを見るまでは、他人が変わらなくてはいけないと思っていたけれど、これからは相手のことを尊重し、自分から変わりたいと思った。また、一人一人の個性を尊重することが大切だなと思った。「リスペクト アゲース」という言葉を常に忘れないようにしたいと思った。

・人と違うから、差別されたり、居場所を失ったりするのは、良くないと思う。自分が必ずしも正しいということはない。自分と違う人を見下したり、いじめたりするのは、決してはいけないことだと思う。他の人を認め、お互いの良い所を生かしながら共に生きていく必要があると思った。自分と同じ人はいなくて当然だからこそ、いろいろな個性がありそれを認めなくてはならない。このことを毎日の生活で意識していきたい。



みんながほかの人と大きく違わないように  
なるべく同じになるように  
すごく気を遣っている

うまくいかないからというより  
うまくできても目立たないようにしなくては  
周りから浮いてしまう

ここは僕にはよく分からない世界なんだ

僕が今までたたき込まれてきたリスペクトアザースは

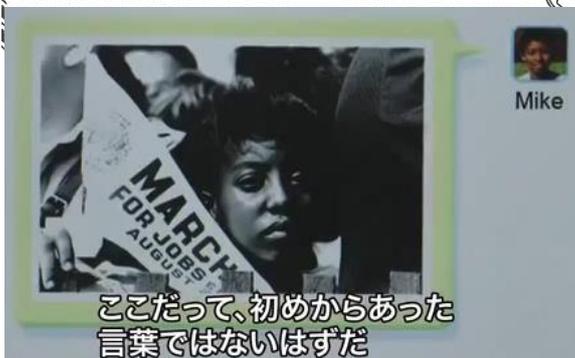
日本にはない

人にはみんなそれぞれの個性があって、それが  
あたり前なんだということを実感した。  
でもそれを分かっていながらもまた差別やいじめ  
はある。なくすために、私はがんばりたい  
こと、やっているのを見たし、声をかける  
などしたい。あと、自分もまわりを気に  
している。おわりがどうなからではなく、自分の  
意思で行動できるようにしたいと思った。



誰とでも仲良くするようにする。いじめを  
絶対しないようにがんばります。

私は映像を見て、日本とサンディエゴの考え方の違いにとても  
驚きました。そして確かに日本では「周りの意う」と変に目立ったり、  
孤立したりすることあると思いました。なので「リスペクトアザ  
ース」は日本や私達に必要な言葉だと思ひ、  
私もまずは自分から相手を尊重することを心  
かけようと思いました。



ここだって、初めからあった  
言葉ではないはずだ



リスペクト アザースは  
自分の心の中からはしか、始まらない

みんなが日本を変えるんじゃなくて、  
自分が変えていけないういけないう  
という言葉が心に残っていて、私も、  
「みんながやる」や「誰かが  
やる」などの考え方を「自分が  
やる」という考え方に直して  
いきたいと思いました。



リスペクトアザースという言葉を知り初めて聞いた。  
日本とサンディエゴの考え方が全くちがった。  
自分はサンディエゴの考え方が好きです。  
みんなを尊重して、平和でくがしたい。  
このアザースも、リスペクトアザースのアザースに  
したい



(マイク)  
翔、いま君は  
周りの友達をリスペクトしているかい？

